

低炭素アスファルト舗装（中温化技術）用バインダー（改質H型系）

# エバーフィックスW

<NETIS登録No.SK-110006-A Wバインダーシリーズ>

昭和瀝青工業株式会社

エバーフィックス W は、ポーラスアスファルト混合物の混合・締固め温度を 30℃程度低減できる機能を有する改質 H 型相当のプレミックスタイプのバインダーです。エバーフィックス W は、混合物製造時の燃料消費量を抑制し、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量が削減できるため、地球環境保全に貢献します。また、施工温度域が広いいため、施工性の改善が必要な舗装工事にも適用できます。

## 特徴

1. ポーラスアスファルト混合物の製造温度を 30℃程度低減できます。
2. アスファルトプラントの燃料消費量や二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量の低減が可能です。
3. 温度低減機能の持続性があるので、施工性の改善ができます。
4. プレミックスタイプのため、プラントミックスタイプの添加材と比べて投入手間が省けます。
5. バインダーおよび混合物の性状は、改質 H 型とほぼ同等です。
6. 施工は通常の機械編成で行えます。

## 適用

1. 環境負荷軽減対策が要求される舗装工事
2. 交通開放時間の短縮が必要な現場の舗装工事
3. 夜間、冬場、その他施工性改善の必要な場合

## 温度低減効果

通常の改質 H 型（エバーフィックス）の所定の温度から 30℃低い温度で締固めても、99.5%の締固度と良好な混合物性状が得られます。（図-1、表-1）

## 適用上の留意点

1. 配合設計は通常の改質 H 型に準じます。
2. 中温化施工温度の目安を以下に示します。  
混合温度：135～150℃  
敷均し温度：130℃以上  
初転圧温度：120℃以上  
交通開放温度：50℃以下

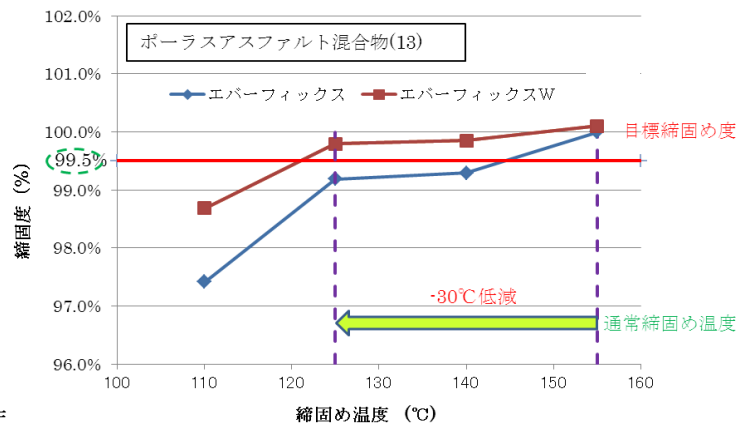


図-1 マーシャル締固め温度と締固度の関係（例）

〔締固度：エバーフィックスの所定の締固め温度（155℃）時の密度に対する割合〕

表-1 混合物性状比較（例）

〔混合物種：ポーラス混合物（13）〕

項目	エバーフィックスW	エバーフィックス	目標値
バインダー量(%)	4.9	4.9	
温度(°C)			
混合	145	175	
締固め	125	155	
マーシャル			
密度(g/cm <sup>3</sup> )	1.999	2.003	
空隙率(%)	20.4	20.2	20程度
安定度(kN)	4.03	4.82	3.43以上
残留安定度(%)	94	93	75以上
動的安定度(回/mm)	5250	7875	3000以上
20℃カンタブロ損失率(%)	10.6	10.2	20以下